



自転車盗難、車上ねらい  
にご注意を！



自転車盗難被害に遭わないために

- ・わずかな時間でも2ロック！  
コンビニなどで買い物する時や、友人・知人宅を訪問した時など、自転車からほんのちょっと離れている間に、自転車が盗まれてしまうことがあります。少しの間でも必ずカギをかけましょう。
- ・路上にはとめず、駐輪場を利用！  
カギをかけていても路上にとめると盗まれる可能性が高くなります。明るく、監視が行き届いた駐輪場をなるべく利用し、忘れず「2ロック」をしましょう。
- ・必ず防犯登録をしましょう！  
自転車利用者は、法律で「自転車防犯登録」を受けるように義務付けられています。

車上ねらい・保管タイヤ等の盗難に注意！

自宅車庫内に駐車してあっても、鍵のかけていない車両の貴重品や軒先に置いてあるタイヤなどが盗難被害にあっています。  
また、飲食店やスーパーマーケットに出かけた際、短い時間と油断して車内にハンドバックやカバンなどを置いたままにすると、窓ガラスなどが割られるなどして盗難被害に遭います。  
車から離れる時は、短時間でも車内に貴重品を置いていかない、駐車する時は、必ずドアロックをする、自宅駐車場には、センサーライトなどをつけて夜間の侵入者を防ぐ、冬用タイヤなどの保管は、シートをかけるなどして盗難被害に遭わないようにしましょう。



平成23年3月11日に太平洋三陸沖で発生した東日本大震災から6年が経過しようとしています。この地方においても東海地震、東南海地震、南海地震がいつ発生しても不思議ではないと言われており、さらにこの3つの地震が連動して起きる「南海トラフ地震」の可能性が指摘されています。

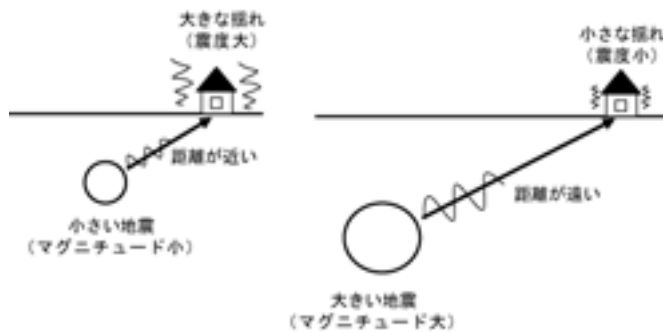
岐阜県では明治24年10月28日に発生した濃尾地震により引き起こされた濃尾大震災にちなみ、毎年10月28日を「岐阜県地震防災の日」、毎月28日を「岐阜県防災点検

3月11日は東日本大震災が発生した日です

の日」と定めて、地震防災の啓発などを行っています。

「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ（規模）を表すものさしです。一方、「震度」は、ある大きさの地震が起きた時にわたしたちが生活している場所での揺れの強さのことを表します。

マグニチュードと震度の関係は、例えば、マグニチュードの小さい地震でも震源からの距離が近いと地面は大きく揺れ、「震度」は大きくなります。また、マグニチュードの大きい地震でも震源からの距離が遠いと地面はあまり揺れなく、「震度」は小さくなります。



▲マグニチュードが小さくても油断は禁物